

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社HTSライズ 熊本事業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を帰社日、ライズ会、朝礼等で従業員に説明し共有し、従業員は、自らの使命を理解し、やりがいを感じている。半期に1回のペースで事業部ごとの事業計画書を作成発表しトップダウンの方針だけでなくボトムアップの方針とのマッチングも行うワークアウト形式の整合会議も実施している。よって、会社のあるべき姿の実現に向け、困難を克服し、新しい技術・事業に挑戦する文化が形成されている。								8	9											17						
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルがあり、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している。 ・Webツールを使ったコンプライアンス勉強会や理解度テストを実施し社員全員の受講・理解度アップをホールディング主体で推進を行っている ・MS委員会という組織があり、選任社員が月一で会議し、全社員への啓蒙を図っている。 ・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、帰社日、ライズ会会議でその重要性を発信している。																				16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・Webツールを使ったコンプライアンス勉強会や理解度テストを実施し社員全員の受講・理解度アップをホールディング主体で推進を行っている ・不正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、社内グループウェアにて掲載、通達を行っている。																				10		16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・ホールディングにSDGS推進部門を確立し、ホールディングからの通達や指導に則り所長指示にて活動している。																					16					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除について、契約書を締結し、弊社本社にて管理している。										8.2 8.3	9										16					
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護の部署を配置し、管理を業約する事で情報漏洩防止を徹底している。 ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を示した社内規定を策定している。 ・Webツールを使った個人情報保護勉強会や理解度テストを実施し社員全員の受講・理解度アップをホールディング主体で推進を行っている。																					16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的にお客様との定例会議(保守会議等)をし、上がった要望や課題を社内にて共有、双方向コミュニケーションに努めている。 ・社内においても洗出し、評価、分析を行い理解を深めたり承認を取る等段階を大事にしている。 ・1年に一度顧客満足度確認のアンケートをお客様に提示いただきアンケート結果によるお客様との整合会議を実施している。																					16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10									12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11								13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9															17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							5					8												12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、社内規定により、差別しない体制・運営を徹底している。 ・定期的にセミナーを受講し意識向上を行っている。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する相談窓口を設置している。 ・全社員を対象に弁護士の講師を招き、ハラスメント研修を行っている				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3													16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、職場での心理的安全性恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる職場環境実現に向けた管理職教育や啓発活動を実施している。 ・ストレスチェックを年1回社員全員に実施している。 ・毎週ごとの時間外労働のチェックツールを使い、過度な時間外労働が発生していないかチェックを実施している									8.8																	
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・弊社ホールディングの総務にて規定を作成して従業員の公正な待遇を行っている。					5.5					8.5		10.2 10.3														
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理をWeb勤怠にて可視化している為残業等の把握ができている。 有給休暇などの取得奨励を実施している。 ・家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。				3						8.5 8.8		10.3														
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・毎月のライズ会で研修を行ったり、研修会に参加して技術の向上を図っている。 ・企業セミナー等に参加を奨励している。 ・元九州大学学長を顧問に招き、毎月1回のペースでトレンド教育を実施している。					4	5.5				8	9															
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・社内に衛生委員会という組織があり、月一で会議し、情報を全社員に共有している。 ・社員全員を年1回の健康診断を受診し健康増進への取組みの促進を行っている。					3					8															17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・事業所には現状障がい者はいないが車椅子でも可動できる様なレイアウトにしている。 ・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・半期に一度、全社員とのCDP面談を行い、不当な扱い等が発生していないか本人確認を行っている。				4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3													16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・在宅勤務を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・全社の合同朝礼等も集合せずウェブ会議を徹底している。										8	9.1		11	12												
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DX推進にむけてマネジメントとマーケティングの実現の為、ホールディングに専門部署を置いている。 ・ホールディングDX専門部署からの随時の世の中の状況の見解や、分析結果に基づいて方針やアクションを決定推進している。										8	9.1		11	12												
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・R5年度の登録を目指し申請中である。				3	4					8	9			12												

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社HTSライズ 熊本事業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ゴミの分別を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、LEDの使用を徹底している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員にゴミの分別を徹底させる事で廃プラやレジ袋などの使用削減の意識を上げる取組みを行っている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内で使用する手洗い、トイレ等の水道水の節水の為の資料を掲示し注意を促している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・PCのリプレイス時にはリユースPCを購入している。 ・コピー用紙も再生紙を使用している。 ・社内ペーパーレスを推進し、社内事務関連の紙使用を極力無しに努めている。 ・社員の飲料ペットボトルのラベルレス購入を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●								6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		・公共交通機関での通勤を義務付けている。									9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社HTSライズ 熊本事業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。(様式第2号)
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・QCD管理を確実にを行うために、各PJのQCD見える化や課内/部内/品質会議等を実施している。 ・開発するシステム製品について出荷判定会議にて精査している。			3.9						9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・開発するシステム製品はユニバーサルデザインを考慮し、操作方法も直感的に操作出来る様意識している。									9.1	10	11.7										17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7						12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域が抱える課題解決のため、くまもと被害者支援センターへの寄附を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・従業員にハザードマップを周知している。衛生委員会でも定期的に議題して社員への啓蒙を行っている。 ・ホールディングに安全衛生委員会を確立し、月一回の視察やチェックを行っている。				4								11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9			11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・毎月の全グループ全社員参加の朝礼にて、ホールディング社長/会長/各会社社長から提言を繰り返し通達する事で、全社員の意識を向上している。 ・社内でのSDGsに関する研修を実施し、役員にSDGsへの意識が浸透している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	ホールディング主体で以下の考え方で推進中 ・大学生のインターンシップを受け入れ(実施中) ・学校等と連携し、出前授業なども行なう(実施中)				4					8.6		10.2										17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生を積極的に雇用している。					4.4					8.5 8.6											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15				17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。